

話題

街にひろう

小雨だって平気だよ！

5月3日に「第19回うしく・鯉まつり」が開催されました。

当日は朝からあいにくの雨模様でしたが、ゴールデンウィークの休日を楽しもうと、多くの家族連れが訪れました。主催者で青少年育成牛久市民会議の諸橋康之会長は「小雨ですが、天気が回復すれ



「魚のつかみどり」でウナギを捕まえたよ！

ば鯉のぼりも元気に泳ぐと思えますので大いに楽しんで行ってください」とあいさつしました。

今回は「空を舞う鯉のぼりに夢をのせて」をテーマに、市民から寄付された鯉のぼり約300匹が空を泳ぎ、会場の雰囲気盛り上げました。主役の子どもたちは小雨など忘れた様子で、昔ながらの体を使った遊びに夢中になっていました。

夢の広場で行われた「魚のつかみどり」では、服がぬれるのも気にせず、ウナギやドジョウを手づかみで捕りました。参加者は「滑って捕れない！」と、普段素手で触らない魚の感触を味わっていました。また、市保健センターでは牛久青年会議所主催の「小学生オセロ大会」が開催されました。

大会には牛久市や龍ヶ崎市、阿見町の小学生約190人が参加して真剣勝負を繰り広げました。子どもたちの活躍を見ようと、多くの保護者も応援に訪れ、会場内を熱気が包み込みました。勝負がついた後には「ありがとう」と握手をして、お互

カナダの大学生が牛久市を訪問

5月15日、カナダ・トンプソンリバーズ大学地理学部准教授のトーマス・ワルデチュック氏(写真右奥)と、その学生たち10人が牛久市を訪問しました。

今回の訪問の目的は、「牛久市の都市計画について」で、池田勝幸市長の講義を受講したものです。学生たちは、池田市長の熱心な説

いの健闘をたたえ合いました。

小雨の中でも元気な子どもたちの笑顔が晴れ渡った一日となりました。



真剣な眼差しの子どもたち



明に真剣にメモを取りながら聞き入り、なごやかな雰囲気の中にも実りある授業となりました。

トーマス氏は筑波大学留学生として日本に来て以来、およそ15年にわたり、田宮・刈谷・城中・下町・結束・ひたち野うしく駅周辺開発など、牛久市の新旧地域を対象とした研究論文を発表しています。また、トーマス氏は、牛久市を第二の故郷としてこよなく愛していて、その誠実な人柄からか、多くの市民からも慕われています。

安心安全コミュニティ2団体を設立

このコミュニティは、向台小学校、奥野小学校を第二避難場所とする行政区で構成され、今年度



から地域の安全パトロールや防災体制づくりなど各種の防災対策に

とになっています。

また、この事業は、財団法人自治総合センターから「地域安心安全ス

テーションモデル事業」の指定を受け、これにより交付された補助金で上記2校内にそれぞれ防災倉庫や炊き出し用の大なべを配備しました。

【向台小学校区安心安全コミュニティ】：南部、みどり野、東みどり野(上写真)

【奥野小学校区安心安全コミュニティ】：奥原、中央、大和田、久野、報徳、井ノ岡、桂

昔懐かしい風景を眺めながら

5月17日の「牛久健康ウォーク2008」に友達同士で参加した伊東いづみさんは、昨年に引き続き2回目の参加。伊東さんは「緑が多くて天気も良くさわやかで、ストレス発散になった。いい汗も流せた」と満足げ。また、伊東さんに誘われて参加した市外に在住の中山スミ子さんと中村道子さんも「毎年楽しみにしています。来年もぜひ参加したい。最後の抽選会も楽しみの一つ」と話してくれました。



小野川沿いののどかな田園風景を眺めながら



このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。

あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしくちょっと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

ちょっと
休憩
ぶれいく

皆さんのお便りから

☆：ちようど1年前

タケノコを作っていたらっしゃる方の紹介記事(広報うしく2007年4月1日号「旬・菜・人」)に、タケノコのみそ漬の作り方があり、早速実家から掘って来て作りました。そして今年、試食！おいしくできていました。友人にも少しずつ分けるつもりです。

栄町・菅さん



南・犬塚さん

短歌・俳句・川柳コーナー

田植どき機械整備し息子待つ

友人を訪ねたときに見てできた句です。

小坂町 飯塚さん

更衣過ぎし想い出しまいけり

栄町 増田さん

花の香に集う蝶舞うばらの庭

田宮 岡村さん

麦しゅうの空でさえざるひばりかな

久野町 酒井さん